

令和6年12月定例教育委員会議事日程

日時 令和6年12月6日(金)

午後3時30分開議

場所 市川市役所第2庁舎 大会議室

- 1 開会
- 2 会議成立の宣言
- 3 議事日程の決定
- 4 議案第27号 令和7年度教育振興重点施策の策定について
- 5 報告第19号 令和6年度市川市一般会計補正予算(第5号)(うち教育に関する事務に係る部分)に関する臨時代理の報告について
- 6 その他
- 7 閉会

令和6年12月定例教育委員会提出議案

議案第27号 令和7年度教育振興重点施策の策定について・・・ 教育総務課 1

報告第19号 令和6年度市川市一般会計補正予算(第5号)(うち教育に関する事務に係る部分)に関する臨時代理の報告
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 教育総務課 5

その他(1) 令和6年度中学生海外受入事業の報告について・・・ 指導課 11

議案第 27 号

令和 7 年度教育振興重点施策の策定について

令和 7 年度教育振興重点施策の策定について、教育委員会の議決を求める。

令和 6 年 12 月 6 日提出

市川市教育委員会

教育長 勝山 浩司

理 由

令和 7 年度における教育の振興を図るため、教育振興重点施策を定める必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

令和7年度教育振興重点施策

1 基本的な考え方

昨年度の総合教育会議にて市長と共有した教育の目指す方向性を反映して策定した第4期市川市教育振興基本計画が、令和6年度からスタートしました。

市川市教育委員会は、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、取組の成果と課題を把握し、これからの市川教育の更なる発展のため、施策の改善・充実に取り組んでまいりました。

また、市川市の教育を取り巻く環境の変化から、喫緊の課題に対応するべく、より一層進める必要のある取組が明らかになってきました。

これらを踏まえ、令和7年度教育振興重点施策を次のとおりとし、教育の振興を図ってまいります。

2 令和7年度教育振興重点施策

○ 子どもたちの「生きる力」の育成

(学ぶ力・道徳心・体力・社会の変化に対応する力)

子どもたちにとって魅力的な授業を目指して、一層の授業改善を行い、学ぶ力や心身の健康の増進、体力の向上に努めることにより、一人一人の子どもの能力を伸ばし、生きる力を育てます。

幼保小中一貫教育を進め、幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続を目指すとともに、異校種間や官民を越えた施設間の交流により、互いの理解を深め、子どもの個に応じた継続的な指導につなげます。

○ 多様な教育ニーズへの対応

特別な支援を必要とする子どもや、外国人児童生徒の個々の教育ニーズに寄り添い、成長を育むとともにさまざまな学びの充実・環境整備に努めます。

不登校児童生徒やその保護者が孤立しないよう、学習機会や居場所の確保、他機関との連携など、将来を見据えた取組を進め、環境を整備します。

○ 教職員が輝ける環境の確保

近年の若年層教員の増加に鑑み、経験の浅い教職員の指導力向上を目指し、各種研修や教育センター機能等の充実を図ります。学習用端末の利活用の日常化や教職員のICT活用指導力の向上に加え、効率的な校務処理を実施するための校内ICT環境整備を持続的・継続的に進め、さらには部活動の地域展開を広げるなど、働き方改革につなげます。

○ 教育関係施設的环境整備

子どもたちが学校で安心して過ごすことができ、教職員が真摯に子どもたちと向き合うことができる場づくりに努めます。特に、体育館のエアコン整備をはじめ、必要な修繕を図るなど学校の環境づくりを進めます。

また、公民館、図書館、博物館などの教育関係施設は、誰もが使いやすく、居心地のよい場を提供できるよう整備を進めます。

○ 人生百年時代に対応した生涯学習の充実

誰もが、生涯にわたって、学びたいときにいつでも身近に学ぶことのできる環境の整備を進めます。また、人と人とのつながりや関わりをつくり出せる、地域に密着した多様な学びの場を提供します。

○ 市川市がもつ文化資産の活用・保護

本市に存在する貴重な文化財を未来の市民に継承するため、指定文化財の保護と活用を図り、博物館の活用を進めます。

国府台遺跡では国庁や国衙の遺構を確認する調査を進めるとともに、来年度本市で開催予定の「国府サミット」に向け、関係部署と連携し、様々な取組を行います。

令和6年12月6日

市川市教育委員会

報告第19号

令和6年度市川市一般会計補正予算（第5号）（うち教育に関する事務に係る部分）に関する臨時代理の報告について

市川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第2条第1項の規定により令和6年11月14日に別紙のとおり臨時に代理したので、同条第2項の規定によりこれを報告する。

令和6年12月6日提出

市川市教育委員会

教育長 勝山 浩司

市川第 20241112-0242 号
令和 6 年 1 1 月 1 4 日

市川市長 田中 甲 様

市川市教育委員会
教育長 勝山 浩司



議案の作成に係る意見聴取について（回答）

令和 6 年 1 1 月 1 1 日付け、市川第 20241111-0182 号にて意見を求められた下記の市議会
提出議案について、異議はありません。

記

提出議案

令和 6 年度市川市一般会計補正予算（第 5 号）（うち教育に関する事務に係る部分）

市川第 20241111-0182 号

令和 6 年 1 1 月 1 1 日

市川市教育委員会

教育長 勝山 浩司 様

市川市長 田 中 甲



議案の作成に係る意見聴取について

令和 6 年 1 2 月市川市議会定例会に提出する議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定に基づき、下記議案の作成について貴教育委員会の意見を求めます。

記

提出議案

令和 6 年度市川市一般会計補正予算（第 5 号）（うち教育に関する事務に係る部分）

令和6年度市川市一般会計補正予算(第5号)(うち教育に関する事務に係る部分)

1. 歳入歳出予算補正

歳 入

款・項・目	金額(千円)	説 明
14. 国庫支出金	2,610	
2. 国庫補助金	2,610	
6. 教育費国庫補助金 (考古博物館)	2,610	5. 社会教育費国庫補助金 2,610,000 円 ◎史跡等購入費補助金 2,610,000 円
21. 市債	360,600	
1. 市債	360,600	
8. 教育債 (教育施設課) (考古博物館)	360,600	1. 小学校債 360,000,000 円 ◎義務教育施設整備事業債 360,000,000 円
		3. 社会教育債 600,000 円 ◎史跡曾谷貝塚用地購入事業債 600,000 円
歳入合計	363,210	

※補正後の教育費に係る歳入全体の合計額は、27億5,802万3千円となる。

歳 出

	(千円)	(円)
11. 教育費		
2. 小学校費	408,750	
1. 学校管理費 (教育施設課) (就学支援課)	408,750	10. 需用費 45,000,000 円 ◎施設修繕料 45,000,000 円 (小学校校舎や給食施設等の施設修繕)
		14. 工事請負費 360,000,000 円 ◎改修工事費 ・校舎等改修工事費 360,000,000 円 (体育館冷暖房機設置)
		17. 備品購入費 3,750,000 円 ◎学校用備品費 ・管理用 3,750,000 円 (次年度に見込まれるクラス増に伴う教卓・ロッカー等増)
3. 中学校費	32,408	
1. 学校管理費 (教育施設課) (就学支援課)	31,500	10. 需用費 30,000,000 円 ◎施設修繕料 30,000,000 円 (中学校校舎等の施設修繕)
		17. 備品購入費 1,500,000 円 ◎学校用備品費 ・管理用 1,500,000 円 (次年度に見込まれるクラス増に伴う教卓・ロッカー等増)
2. 教育振興費 (指導課)	908	18. 負担金補助及び交付金 908,000 円 ◎交付金 ・行事参加生徒交付金 908,000 円
4. 学校給食費	8,000	
1. 学校給食費 (保健体育課)	8,000	10. 需用費 3,000,000 円 ◎物品等修繕料 3,000,000 円 (調理用備品の老朽化による突発的修繕)
		17. 備品購入費 5,000,000 円 ◎学校用備品費 ・業務用 5,000,000 円 (備品故障・買替)
6. 社会教育費	3,271	
2. 文化財費 (考古博物館)	3,271	16. 公有財産購入費 3,271,000 円 ◎土地購入費 ・史跡曾谷貝塚用地購入費 3,271,000 円
歳出合計	452,429	

※補正後の教育費全体の合計額は、158億3,065万2千円となる。

2. 繰越明許費補正

追 加

款	項	事業名	金額
教育費	小学校費	小学校営繕事業	360,000 千円

3. 債務負担行為補正

追 加

	事項	期間	限度額
1	須和田の丘支援学校スクールバス送迎委託費	自 令和6年度 至 令和7年度	11,000 千円
2	下総国府等デジタルコンテンツ作成委託費	自 令和6年度 至 令和7年度	23,000 千円

変 更

	事項	補正前の限度額	補正後の限度額
1	学校保健定期健康診断委託費(令和6年度)	35,000 千円	42,000 千円

4. 地方債補正

変 更

起債の目的	補正前の限度額	補正後の限度額
教育費	357,000 千円	717,600 千円

令和6年度中学生海外受入事業の報告について

- 1 趣 旨 ドイツ連邦共和国在住の生徒が、日本の家庭に滞在し、市立中学校への訪問や日本文化体験等を行うことで日本への理解を深めてもらう。また、この国際交流を通して、市川市の中学生の国際感覚を豊かにする。
- 2 受入期間 令和6年10月19日(土)～10月29日(火)
(10泊11日)

3 日 程

月 日	行 動	宿 泊
10月19日(土)	・受入生徒と再会、受入家庭と対面	ホームステイ
20日(日)	・受入家庭でのプログラム	ホームステイ
21日(月)	・中学校での体験学習	ホームステイ
22日(火)	・中学校での体験学習 ・市内視察(アイ・リンクタウン展望施設、千葉県立現代産業科学館)	ホームステイ
23日(水)	・日本文化体験(おにぎり作り) ・教育長表敬訪問 ・消防体験(市川市東消防署)	ホームステイ
24日(木)	・県内視察 (香取神宮、佐原の街並み等)	ホームステイ
25日(金)	・日本文化体験(華道・茶道・昔遊び) ・市内視察(神輿ミュージアム・常夜灯)	ホームステイ
26日(土)	・着物着付け体験 ・ドイツ生徒学習発表 ・さよならパーティー	ホームステイ
27日(日)	・受入家庭でのプログラム	ホームステイ
28日(月)	・中学校での体験学習	ホームステイ
29日(火)	・帰国	

- 4 受入生徒 ドイツ連邦共和国・ローゼンハイム市
メートヒェン・リアルシューレ校生徒 16名
- 5 引率者 メートヒェン・リアルシューレ校教諭 2名
- 6 通 訳 コーディネーター (株) フィクス